

## プロジェクト共有サーバー インストーラーをご利用のお客様へ

このドキュメントには Architect/Landmark/Spotlight/Design Suite 用プロジェクト共有機能用のプロジェクト共有サーバーをインストールする手順が記載されています。

※ プロジェクト共有機能は、Fundamentals では利用できません。

プロジェクト共有機能では、複数の共有設定が利用できます。状況に最適なオプションとしてプロジェクト共有サーバーを利用する場合にのみインストールしてください。プロジェクト共有サーバーは、プロジェクトファイルへのアクセス（開く、読み取る、書き込む、閉じる）をVectorworksに代わって制御します。ローカルネットワーク上の同じプロジェクトファイルで複数人が同時に作業する場合、プロジェクト共有サーバーを利用することで、プロジェクトファイルへのアクセスの競合が発生するのを防ぐことができます。

※ Dropbox などのクラウド上でファイルベースの共有をする場合は、プロジェクト共有サーバーを利用できません。

※ ローカルネットワーク上でファイルベースの共有をする場合は、プロジェクト共有サーバーを利用しません。

※ ローカルネットワーク上でサーバーベースの共有をする場合にのみ、プロジェクト共有サーバーを利用します。

※ プロジェクト共有機能について詳しくは Vectorworks ヘルプをご覧ください。

### <インストーラーについて>

本フォルダには、Windows 用インストーラー、Mac 用インストーラー、Docker イメージ用インストーラーが同梱されています。（イメージとは、Docker が実行する仮想マシンの定義です。）

それぞれ以下のインストーラーをご利用ください。

Windows	: ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-win-installer-xxx.exe
Mac	: ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-osx-installer-xxx.pkg
Docker イメージ	: ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-docker-image-xxx.zip

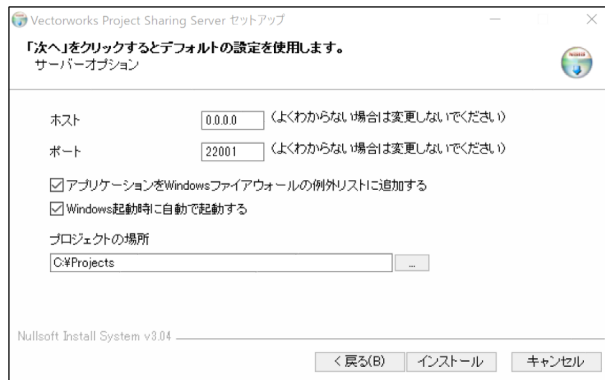
以下の手順に従ってインストールを行ってください。

### Windows

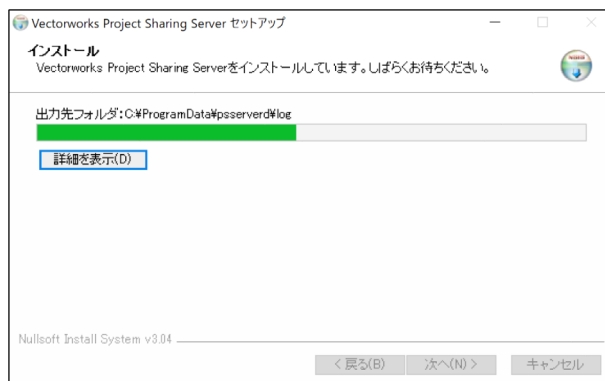
1. 本「プロジェクト共有サーバー」フォルダ内の「ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-win-installer-xxx.exe」をダブルクリックしてください。プロジェクト共有サーバーのセットアップダイアログボックスが表示されます。「次へ(N)」をクリックします。



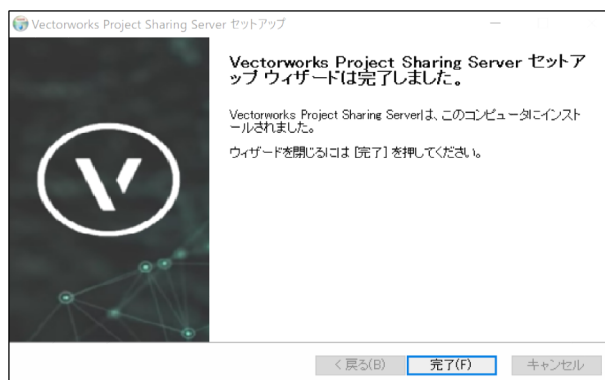
2. サーバーオプションの画面に切り替わります。「インストール」をクリックします。  
 ※ サーバーオプションについて、詳しくは Vectorworks ヘルプの「プロジェクト共有サーバー」をご参照ください。



3. インストールが開始され、進捗ゲージが表示されます。

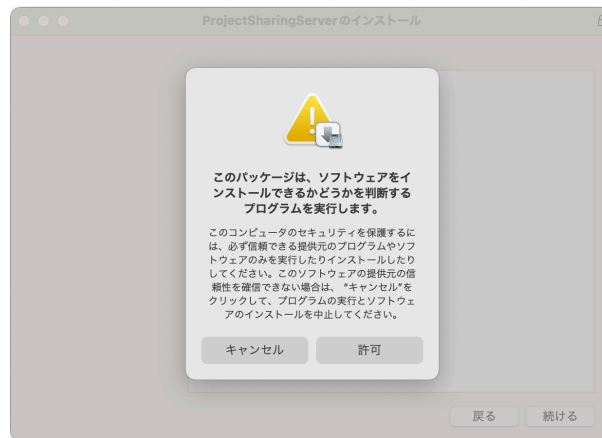


4. インストールが完了するとセットアップ ウィザードの完了画面に切り替わります。  
 「完了」ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。

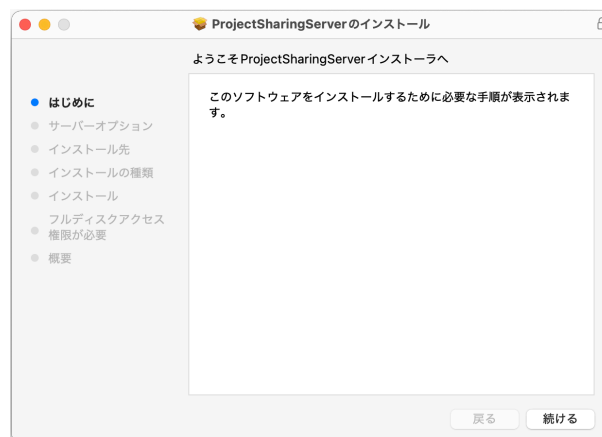


## Mac

1. 本「プロジェクト共有サーバー」フォルダ内の「ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-osx-installer-xxx.pkg」をダブルクリックしてください。プロジェクト共有サーバーのインストールダイアログボックスが表示されます。「許可」をクリックします。



2. 「続ける」をクリックします。



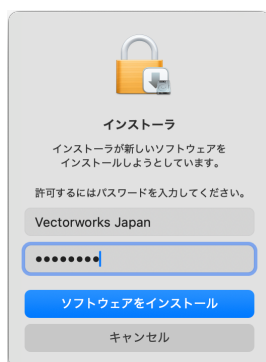
3. サーバーオプションの画面に切り替わります。「続ける」をクリックします。  
※ サーバーオプションについて、詳しくは Vectorworks ヘルプの「プロジェクト共有サーバー」をご参照ください。



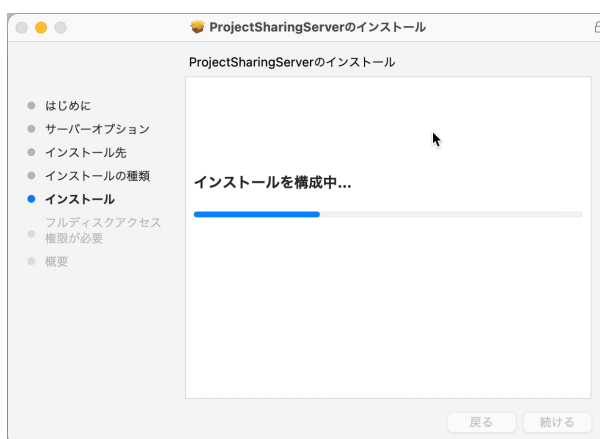
4. インストール先を確認し、「インストール」をクリックします。



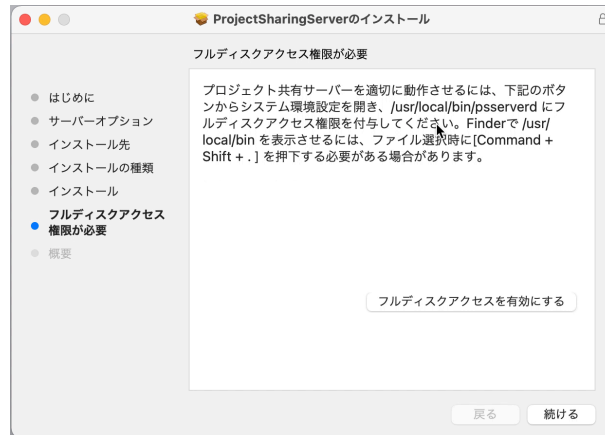
5. ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



6. インストール中です。



7. インストール後、「フルディスクアクセスを有効にする」をクリックします。



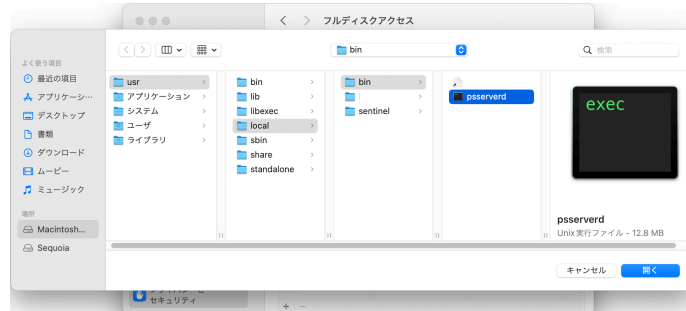
8. 環境設定のセキュリティとプライバシーのフルディスクアクセスが開きます。フルディスクアクセスのアプリケーションリスト下の「+」ボタンをクリックします。



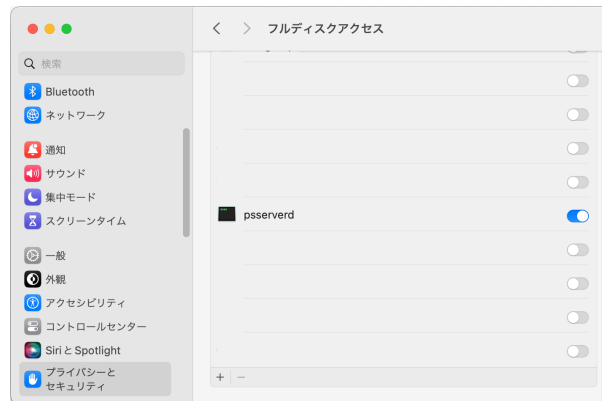
9. 「+」ボタンをクリックするとアカウントのユーザ名とパスワードの入力を求められます。



10. /usr/local/bin/psserverd を選択し、「開く」をクリックします。  
 ※ /usr が非表示になっている場合は、[Command + Shift + .]を押下すると表示されます。



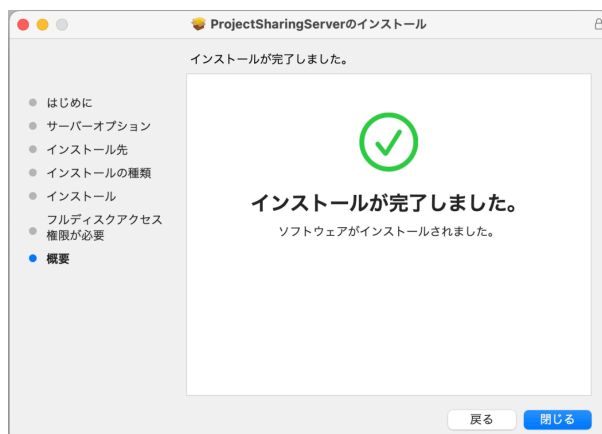
11. 「psserverd」がフルディスクアクセスのアプリケーションリストに追加されます。



12. セキュリティとプライバシーを閉じ、インストールダイアログボックスの「続ける」をクリックします。



13. インストール完了です。「閉じる」をクリックするとインストーラーが終了します。



## Docker イメージ

- ※ Windows または Mac 以外のホストマシン（Linux や NAS デバイスなど）が対象です。
- ※ ホストマシン上に Docker パッケージをインストールした後、プロジェクト共有サーバーのインストールおよび設定を行います。詳しい手順は使用するプラットフォームごとに異なります。

ここでのインストール手順は一例で、Synology DSM を搭載したホストマシンでインストールする手順になります。

1. Synology メニューの「Package Center (パッケージセンター)」から「Docker」を検索し、インストールします。
2. 本「プロジェクト共有サーバー」フォルダ内の「ProjectSharingServerInstaller-xxxxxx-docker-image-xxx.zip」を展開（解凍）し、展開したフォルダ内にある project-sharing-server.tar をご使用の NAS デバイスにアップロードします。
3. Docker 画面の「Image (イメージ)」にある「Add (追加)」ドロップダウンリストから、「From File (ファイルから)」を選択し、project-sharing-server.tar を選択します。イメージのインポートが完了したら、そのイメージを選択して、「Launch (起動)」をクリックします。
4. 表示される「Create Container (コンテナの作成)」ダイアログボックスで、「Advanced Settings (高度な設定)」をクリックします。「Auto-restart (自動再起動)」にチェックを入れます。
5. 「Network (ネットワーク)」タブの「Use the same network as Docker Host (Docker Host と同じネットワークを使用)」をクリックします。Docker のコンテナはポート 22001 を開放します。このオプションにチェックを入れることにより、NAS デバイスのポート 22001 がプロジェクト共有サーバーによって使用されることになります。必要に応じてこのオプションのチェックを外し、「Port Settings (ポート設定)」タブでポート転送ルールを設定することもできますが、追加のルーター設定が必要になる場合があります。
6. 「Volume (ボリューム)」タブで、「Folder (フォルダ)」列を追加します。「File/Folder (ファイル/フォルダ)」は、NAS デバイスに保存されているプロジェクトファイルの最上位ディレクトリを指定します。「Mount path (マウントパス)」の値は[/usr/psserverd/Projects]にする必要があります。
7. さらにもう 1 つ「Folder (フォルダ)」列を追加します。「File/Folder (ファイル/フォルダ)」は、サーバーのログの保存先にする NAS デバイスの場所を指定します。Mount path (マウントパス) の値は[/usr/psserverd/log]にする必要があります。どちらの列も「Read-Only (読み取りのみ)」のチェックを外してください。
8. ログレベルは「Environment (環境)」タブの「Execution Command (実行コマンド)」で渡す数値を -1 に変更することで調整することができます。有効な値の範囲は 1-5 です。1 はエラーのみログを記録し、5 は詳細レベルのログを記録します。
9. 「Apply (適用)」をクリックして「Next (次へ)」をクリックし、「Run this container after the wizard is finished (ウィザードの終了後にこのコンテナを実行する)」にチェックを入れます。「Apply (適用)」をクリックします。
10. これでプロジェクト共有サーバーが稼働してポート 22001 で利用できるようになります。

以上

ベクターワークスジャパン株式会社

2025.11.30

---

©1985–2026 Vectorworks, Inc.

☐ Vectorworks、Renderworks、Braceworks と ConnectCAD は Vectorworks, Inc. の登録商標です。

☐ SmartCursor と VectorScript は Vectorworks, Inc. の商標です。

☐ Vision は Vectorworks, Inc. の製品です。

☐ Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

☐ Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

☐ Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

☐ その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

☐ その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

☐ 本書に記載されている一部または全部を無断で転載する事は禁止されています。

☐ 製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。